

イマヌエル教報

2021. 10

1947年7月1日第三種郵便物認可 2021年10月5日（毎月5日発行）

イマヌエル綜合伝道団

No.903

IMMANUEL

聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、地の果てにまで、わたしの証人となります。（使徒1:8）

持っているものをしっかりと保ちなさい

教育局長 小川宣嗣



「ただ、あなたがたが持っているものを、わたしが行くまで、しっかりと保ちなさい。」（黙示録二・25）
「だから、どのように受け、聞いたのか思い起こし、それを守り、悔い改めなさい。」（黙示録三・3）
「わたしはすぐに来る。あなたは、自分の冠をだれにも奪われないように、持っているものをしっかりと保ちなさい。」（黙示録三・11）

*

今月21日は、第76回目の教団創立記念日。この日に近い前後の聖日には、各教会において「教団創立記念礼拝」が守られます。尊いご計画をもってイマヌエルの群れを興し、ここまで守り導いてくださった主の御旨を意義深く思い巡らす幸いな時となりますように、祝福をお祈り申し上げます。

1945年10月、太平洋戦争終結からわずか2か月後、創設者の葛田二雄師と二人の協力者による徹夜の祈りのうちに、同師に獄中で示されたビジョンに従って「イマヌエル綜合伝道団」は誕生します。以来26年間に亘り、葛田師は群れの指導者として全身全霊を尽くして奉仕を全うされ、1971年7月25日、天の御国へ凱旋されました（65歳）。従って、今年は葛田師ご召天からちょうど50年、半世紀が経過しました。群れの創設期を知る器方は勿論、創設者から直接の薫陶を受けた方々も次第に少なくなりつつあります。因みに筆者は、葛田師ご召天時は9歳。それ以前から、東京九段会館で行われていた年会合同礼拝に親に連れ

られて出席していましたので、3階席のはるか彼方からお顔を見ることがあるはずですが、残念ながら記憶には残っていません。ですから、筆者にとって葛田二雄先生はほぼ歴史上の人物です。直弟子の先生方のように葛田師を身近に理解することはできませんし、「聖と宣」のビジョンやスピリットの継承ができているか、さらに後代に正しく伝えて行けるのかと問われたら、主のあわれみを祈る以外にありません。

黙示録二章から三章に登場する7つの教会に対するイエス様からの語りかけは、すべての時代のすべての教会・信仰者すなわち現代の私たちへのメッセージです。繰り返されているのは、「あなたがたは持っているものがある、受け、聞いたものがある」ということと、それらを「保つこと、思い起こすこと、守ること、悔い改めること」です。創設者を始め歴代の器方は、主から受けた福音の本質に関わる「聖と宣」のメッセージを伝えてくださいました。制約はありますが、人や書物や記録を通して、今その真理が伝えられ聞くことができる恵みを感謝します。しかし主は、ただ受け身で聞いたということにしないで、本気で保持し、繰り返し想起・確認し、誤った理解から守り、もしそこから外れそうになったなら、悔い改めて初めの愛、本来の立ち位置に返るようにと招いておられます。

コロナ禍の試練がなお続く中で迎える教団創立記念の月、主の私たちの群れに対する恵みの招きに、小さな一歩からでも応答することができますように。

目次

- 持っているものをしっかりと保ちなさい……小川宣嗣……1
- 教団創立記念、出版事業部、コロナ禍での教会……2
- 教団運営委員会、BA教区主事会議、災害支援報告……3
- 海外トピックス、国内教会局コラム、神学院同窓会……4
- 中部ブロック近況と祈りの課題、燭台……5
- 広げた翼……6～8
- 聖宣神学院報……9～11
- 公報、消息……12

Immanuel

教団創立記念日に

教団創立記念日は10月21日 今も創設時の祈りと 新たな信仰をもって

教団代表 岩上祝仁

「あなたがたのうちの二人が、どんなことでも地上で心を一つにして祈るなら、天におられるわたしの父はそれをかなえてくださいます。二人か三人がわたしの名において集まっているところには、わたしもその中にいるのです。」

(マタイ一八章19、20節)

私たち、イムマヌエルの群れは1945年10月21日に岡山・野馳の地で産声をあげました。その前後を振り返りたいと思います。創設者の葛田二雄師は戦時中、牧師職を剥奪されて青山学院の教師となりました。終戦後、様々な選択肢が考えられる中で、戦前のリバイバルリーグ時代より親交(信交)のあった長谷川元子師・正子師の両名が広島原子爆弾より神の奇跡的な見守りによって生き延びた知らせを受け、その手紙を頼りに葛田二雄師は岡山に長谷川両師を訪ねました。そして奇跡的な再会を喜びつつ、イムマヌエルの群れの創設を語りあい、三人で主イエスを見上げて祈ったのです。それ

が10月21日、教団創立記念日です。それは主の救いとみ守りを感じする祈りであり、信仰の祈りであり、主の前に全てを捧げる祈りであり、主の御旨に従ってあらゆることを通して福音を伝えてゆくことを主に約束する祈りでした。

この後、長谷川正子師・元子師は上京し、イムマヌエル医院を船橋に開設します。医院の建物の火災を乗り越え、1946年元旦に葛田二雄師夫妻・山本岩次郎師夫妻・長谷川両師の6名での新年聖会、そして3月12日の伝道部発足祈り会、6月の第一回年会と、群れの実践的な発足へとつながります。創立記念日であったことは、全国にイムマヌエル発足の手紙が送付された日でも、会議による議決や決意表明でもなく、創設者たちによる祈り会でした。福音の使命を果たすために信仰の仲間とともに捧げた祈りが教団の原点です。今、コロナ禍で私たちは困難な時代の中に生きています。また超高齢化社会の日本において、教会も次世代の育成に力をさらに注いでゆく必要もあります。伝道を含めて様々な面で多くの困難があることは重々承知しています。その一方で、創設時のように神のみに信頼して、福音の使命に生きてゆく信仰が今こそ求められているように感じます。

信仰の仲間と共に主イエスの臨在の中で、主のために立ち上がり、主イエスという祈りこそがイムマヌエルの原点であったのです。

出版事業部から

今後の出版計画は……

こんなときだから
こそ、本を読もう

出版事業部長 川村和臣

コロナ禍により、様々な制限のある中ですが、出版事業部としては、少しでも教会の助けとなれば、と働きを進めています。

新刊としては、クリスマスの発刊を目指して「エマオの道で(再版)」を制作中です。聖書箇所を新改訂2017版とし、装丁も新たにします。また、来春を目途に「わが道の光」として、岩上敬人先生による、聖書通読の助けとなる書籍の発刊を予定しています。実際の歩みのための「信仰生活の手引き」も準備中です。引き続き、教会の状況などを鑑みつつの発刊となります。

「洗礼願書」「会員原簿」等も新しくしました。紙版だけでなく、ダウンロード版も用意します。イムマヌエル讃美歌はPDF化を進めています。今後の用い方については、必要に応じて対応します。

「つばさ」は若い先生方による編集が続けられ、斬新なテーマの記事が取り上げられています。リーフは現在の状況を踏まえ、来年までは休刊となります。尚、お祈りください。

コロナ禍での教会……

ポストコロナを展望する 幸せであってほしい!

女性牧師部長 古川恵子

味づけするまで、「ポストコロナ」は変わって考えると考えます。今は貴重な意味ある時期とすることは、この時期を忘れないためにも必要です。どんな意味づけがあるでしょうか。忍耐、信じることで希望を持ち続ける訓練、神様と深く交わる時、祈りの時、あるいは絆を深める時、そしてオンラインでの伝道の開拓……いろいろな意味づけがあると思います。

私も1年半を意味づけしてみようと思います。神様は何を私に教えるようにされているのか?何を学んでほしいと思っているのでしょうか?順調に行っていた道が閉ざされ、停滞どころか、下降を余儀なくされています。教会の皆さんはお元氣だろうか?集まらない意味づけはなんだろうか?楽しいことよりも、忍耐・我慢・苦しさが目立ちます。神様は私に問います。「苦しいか?」と。私は「はい」と答えます。神様は「あなたが苦しむことは私の本意ではない。むしろ、あなたが幸せであってほしい」と。幸せとは何か、考えます。

ふと、こんなことを思いつきました。1%の努力と99%の信仰。コロナ禍の中で、私は何ができているか?何もできていない。でも、神様は私が幸せであることを望んでいるなら、私は1パーセントでもいい。あの99%は神様がしてくださる。これはポストコロナへと続く意味づけです。コロナ禍の中、ゆったりとのんびりと「1%の努力と99%の信仰。」詩篇三・1

教団運営委員会から……

コロナ禍ですが

働きを続けています

広報 浜田耕三



厳しい残暑から一転して、心地よい秋風を感じる中、教団運営委員会が9月7日にオンラインにて開催されました。各局の今夏の働き、また秋に向けての取り組みが報告されるとともに、来年の年会についても検討されました。

*

代表によって第二テーマ「4章1〜5節が開かれ、この困難な時代にあっても、イムヌエルの群れが、福音の恵みに対する確信を持って宣教の使命を果たすため、教団運営委員会は各地域教会と先生活・信徒方を支えるために労するようにと語られました。

▼全国各教会では、コロナ感染拡大の中、上よりの知恵をいただきながら、様々な配慮や方法をもって礼拝を捧げ、伝道の働きに取り組んでいます。また各地で行われましたオンラインでの聖会の幸いな報告がなされました。今後の各聖会の祝福をお祈りください。

▼世界宣教局では11月21日の宣教聖日に向けて、DVDの作成が進

められています。お楽しみに。台湾の久保先生ご家族は言葉が不自由な中、コロナ禍での奉仕が始まりました。お祈りください。フィリピンの豊田宣教師方は現地に、サバティカル・リーブ（休暇）に入っています。いつも宣教コイン献金へのご協力を感謝します。21〜22年度もコイン献金を実施することになりました。続いて宜しくお祈りします。

▼教育局より、青少年部の働きとして8月にリモートにて開催された「とにキャン」の報告があり、祝された営みとなりましたことを感謝しました。今秋以降には「九州青年大会」、「YSBリトリート」、「Re（西日本青年大会）」が行われます。また生涯学習課では10月21日に「牧師研修会」を開催します。

▼聖宣神学院では夏期実習を終えて、後期の学びに入ります。続いて献身者興起のためにお祈りください。なお11月16日にはオンラインを用いて「BTC同窓会の総会・セミナー」が開催されます。

▼信徒局では11月23日の全国信徒フォーラムに向けての準備が進められています。

*

来年の第77次教団年会は、3月23日・24日の二日間、オンラインでの開催が決定されました。その年会プログラムについて、積極的な意見交換が行われました。今より年会のために覚えてお祈りください。

全国BA・教区主事会議

直面している課題を取り上げ 兼牧・献身者の興起



国内教会局長 大兼久芳規

「バビロンの川のほとり、そこに私たちは座りシオンを思い出して泣いた。」詩篇一二七篇

捕囚の民は、神殿での礼拝が許されず、川のほとりを祈り場としていました。私たちもコロナ禍の中、会堂に集まらない制限の中にあります。しかし捕囚の民はその制限の期間で、まことの礼拝と信仰に渴き、帰還後、それが結実しました。私たちも、この期間に信仰を純化し、神の前の豊かさに近づこうと御言葉が語られました。全国主事会の午前は「兼牧の実際」についての学びです。

全国の教会に、年毎に牧者の派遣がなされてきましたが、それが難しくなっている時代です。

そのような時にいくつかの教会で兼牧により教会が支えられています。深川教会と鉧路教会、白鳥教会の兼牧を、川嶋師がご紹介くださいました。

深川と鉧路は、遠距離になりま

結び、同じ時間帯に礼拝が守られています。その他、聖日午後の聖書の学び、水曜日の祈りの会、木曜の聖書の学びも各教会からZoom参加で、信仰の養いと交わりの時となっています。白鳥教会へは半時間ほどの距離ですが、月2、3回のオンライン礼拝や訪問しての礼拝が守られています。

その後に質問の時となり、「会計の方法」「兼牧中の伝道は」「牧会に必要な情報は」などの質問が出ました。

次に京都伏見教会、西教会、徳島教会の兼牧は、牧師が各教会を交互に回り、そこからYouTubeで他教会への礼拝のライブ配信が中心になっている事が紹介されました。質問としては「三教会の週報の形態・内容」「オンラインでの礼拝は平時と、どのように異なるか」などが出されました。

主事会の午後は、秋の教区会を前に「コロナ禍の礼拝人数の集計」「教団のホームページ内の各教会紹介コーナーの新設」「新しい洗礼願書、教会員原簿」の紹介などがなされました。

その後、「献身者興起」をテーマに、BAの細田師、佐藤師、浜田師の献身の証しがなされ、自分たちの献身には「きよめ」が大きくかかわっていたことなどが証しされ、幸いな時となりました。その後グループに分かれての「献身と兼牧」についての分かち合いの時が持たれました。

引き続きお祈りください。

佐賀県豪雨災害……

災害救援活動の報告 県内有志教会が 連携して活動

佐賀教会 阪下 謙

佐賀豪雨被害のために全国からの尊いお祈りを心より感謝いたします。佐賀市内は大きな被害はありませんでしたが、武雄地区は前回より大きな被害を受けました。

この被害を受け、佐賀県内の有志の教会と九州キリスト災害対策支援センター（九キ災）で「佐賀災害支援教会ネットワーク」を立ち上げました。

現在は、2週間に一度、Zoomで定例会議を行い、活動の報告、課題の共有をし、祈りの時をもっています。「20グループでも情報や、緊急的な支援の要請を共有しています。

ボランティア活動は九キ災が中心となって浸水地域を回り、浸水した家具の廃棄、床板、壁をはがして泥かきなど、住民の方の要望に応じた支援の働きを進めています。特に要望を聞くこと、悩みにどに耳を傾け寄り添うことを心がけています。

コロナ禍で他県からの応援も難しく、県内でもワクチン未接種の人は参加できない状況で苦戦をしています。引き続きお祈りいただければ感謝です。

国内教会局から

コロナ禍にある教会
思いもよらない副産物

新型コロナウイルスの影響は予想を超えて非常に大きく、長期間に及んでいます。教会はそれぞれに苦心、苦勞をしながら何とか働きを進めています。



このような中でも、主は不思議だなあと思うようなことをされます。西洋文明の勉強を始めてキリスト教に興味を持った方からお手紙をいただきました。教会の集会に来られませんが、なかなか伝道ができない状況の中、思いもよらない形で求道者が起こされました。緊急事態宣言の継続でずっと会堂に集まることができず、ネット礼拝をしている教会も多いでしょう。

しかしそのような中で、教会に行ったことが無い家族の方がパソコンの前で一緒に礼拝のメッセージを聞いたりしているというように証しもたくさん耳にします。主は逆境の中にも、思いもよらない恵みを備えていてくださるお方です。困難や不安の中でも主の恵みや御業を見出し、感謝しつつ前進したいものです。(謙)

■韓国・チヨ・ヨンギ牧師死去
韓国の聯合ニュース報道によると、ソウルの汝矣島純福音教会の創設者、趙鍾基(チヨ・ヨンギ)牧師がソウルの病院で9月14日死去した。85歳だった。昨年からは

を育て上げた。教会以外にも、88年「新聞『国民日報』を創刊。人權・環境・児童福祉のための非政府組織「グッドピープル」を設立。北朝鮮で病院建設のプロジェクトを行った。(編集者注・チヨ・牧師は、

2800年前の地震の痕跡
エルサレム発共同通信は、イスラエルの考古学チームが8月29日までに、エルサレム市内で約2800年前に発生したとみられる地震の痕跡を発見したと発表。エルサレムでこの時代の地震の跡が発見は初。旧約聖書でも地震について触れられており、記述を裏付ける発見として注目を集めている。チームの考古学者、ジョー・ウジエル氏は「考古学的発見と聖書の記述が結びつくことで、新たな歴史像を描ける。」と話した。見つかったのは崩壊した石造りの建物や無数の土器の破片を含む破壊の痕跡を示す地層で、土器の特徴などから時代を特定。



海外トピックス

出血の治療を受けていた。1956年、純福音大学で神学を学んだ趙牧師は58年卒業後、ソウル北西部に天幕教会を開き、その後、汝矣島に移転し、70万人以上の信者を持つ汝矣島純福音教会

私たちとは福音理解や教会観で違いがある。韓国教会の歴史に足跡を留めた人物と言えるだろう。

■米ハーバード大学主任チャブレンに無神論者就任

米マサチューセッツ州にあるハーバード大学は、400年近く前にピューリタンの入植者たちによって設立された名門校。その主任チャブレンに初の無神論者、グレッグ・エプスタイン氏(44)が就任した。同氏は05年から、ハーバード大学で人文主義者のチャブレンを務め、ベストセラーとなった『神なき善』10億人の無宗教者が信じるもの』の著者。ニューヨーク・タイムズ紙に「どの宗教的伝統にも共感できない人々が増えているが、善良な人間で、倫理的な生活を送る意味についての対話やサポートが必要だと痛感している」とし、「私たちは、神に答えを求めない。私たち自身が互いの答えだ」と語った。(平瀬聡樹)

神学院同窓会から

11月16日に同窓会総会
オンラインでセミナー開催

同窓会副会長 蔦田直毅

神学院同窓会のために祈りとご協力をありがとうございます。本年9月に開催が予定されておりました同窓会セミナーおよび総会は、コロナ禍のためにオンライン開催となり、日程も11月に変更になりました。蔦田二雄初代院長召天から50年目の年、ふるってご参加ください。参加費は無料ですが、必ずご登録をお願いいたします。9月半ばにご案内、ニュース、同窓会名簿、総会選挙の資料を送りました。届きましたでしょうか。

▽セミナーについて

講師は日本ナザレン神学校教授 ほか要職を務めておられ、先日はeラーニングの講師も務めてくださいました石田学師です。11月16日の午前10時と午後7時半の2回「時代を見つめて」というテーマでお話しください。質疑応答の時間も設けられる予定です。▽総会について

11月16日の午後、総会が開催されます。今回は幹事の改選が主な議題となっています。今のところ大きな規約改正等はありません。ですので議事会の後には時間の許す限りブレイクアウト・ルームを利用してのグループ別のお交わりを予定しています。

▽会長選挙について

6年の任期が終了しますので、幹事(会長・書記・会計)の改選が行われます。今回は事前投票となり、総会の前日の15日に開票作業が行われます。最高得票者が会長となり、続く3名が幹事となります(他に幹事若干名が加わり).

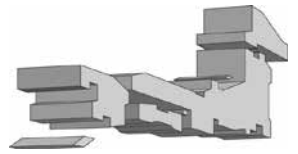
選挙権は全正会員にあります。

被選挙権は、会長の任期は最長一期(但し、任期を開けての再選は可能です)となっているため、現会長の宮川浩二師を除く全正会員にあります。

投票は11月14日必着ですが、15日の午前中に開票しますので、12日(金)までに届くよう、早めにご投票してください。

▽参加申し込みについて

今回は参加費は無料となっています。お申し込みの締め切りは10月12日となっていますので、お急ぎください。オンラインでのお申し込みになりますので、ご不明な点がありましたら、神学院または浜松教会の蔦田直毅にお尋ねください。では、オンラインでお会いしましょう。

国内教会局
スクエア中部ブロックの
近況と祈りの課題

ブロック・アドバイザー

浜田 耕三

◆静岡教区
昨年には金谷教会に高橋みづほ師、今春には藤枝教会に田中利道師が着任され、伝道、教会建設の働きに取り組んでおられます。

春の青年大会、夏のCS講習会は中止となりましたが、今秋には11月3日前後に、DVDを用いて静岡聖会が各教会にて開催されます。昨年もこうした形で聖会が持たれたことで、例年を遥かに超える参加者が起こされたことを覚えつつ、今回も更なる祝福がもたらされるよう祈り備えています。

8月末には県内に緊急事態宣言が出されましたが、各教会では主の知恵をいただきながら、様々な形態をもって集会や伝道の働きが継続されています。その取り組みによって新たな求道者や受洗に至る方が起こされるなど、結果も見られ聖名を崇めます。なお、主な礼拝形態（9月現在）は以下のとおりです。▽会堂にて対面⇨下田、藤枝、島田、金谷、磐田（午前と午後の二部制）。▽リモート⇨清水、静岡。▽対面・リモート併用⇨浜松。

ご高齢の先生方も主の恵みのうちに支えられ、ご聖務にあたっておられます。お祈りください。

◆中京教区

9月19日には中京聖会が小坂嘉嗣師（日本宣教会狭山教会）を講師に、リモートにて開催されました。春より、聖会のZoom開催に備えて、各教会に必要な機材が教区支援によって整えられました。聖会では各教会紹介動画が流されるなど、教区が一つであることを意識して執り行われ、主の栄光を拝する聖会となり、聖名を崇めます。

東海聖会が6月26、27日にYouTube配信によって開催され、幸いな恵みに与かりました。また10月17日には東海聖化大会が名古屋教会を会場に、オンライン併用にて開催されます。

コロナ禍にあつて様々な制約を受ける中、主の恵みと教会における細やかな配慮によって、各教会の一致が保たれ、それぞれの教会の働きが進められています。礼拝の形態につきましては、名古屋、豊田、四日市各教会では、感染対

策を徹底しつつ対面・リモート併用にて、岐阜教会ではオンラインにて行われています。

なお、昨年は中止となりました教区内の交換講壇が、今秋にはオンラインによって、二教会間に行われる予定です。交わりの祝福をお祈りください。

◆北越教区

教区が南北に広くまたがることから、北越聖会は例年、新潟地区と北陸地区に分かれて開催していましたが、今年はコロナ禍であるために合同で、メッセージDVDを用いて、10月31日に各教会にて執り行われます。どうぞ祝福をお祈りください。

コロナ感染対策とともに集会時間の短縮、またリモートの活用など、様々な配慮、方法をもって礼拝を始め諸集会、伝道の働きが継続されています。こうした中、ネット礼拝参加者からも受洗に至る方が起こされ聖名を崇めます。各教会の主な礼拝形態（9月現在）は以下のとおりです。▽会堂にて対面⇨金沢、福井。▽対面・リモート併用⇨新潟、長岡、小松。▽リモート⇨金沢、富山。

伝道サポートシステムにつきましては、金沢教会は来年に繰り越すこととなりました。小松教会では当初の計画を中止し、講師としてお迎えする予定でした森下辰衛師のCD、DVDを購入して、求道者に配布することとなりました。続いて伝道の取り組みのためにお祈りください。



練習の方がきつかった

さまざまな懸念がある中で行われた東京オリンピック・パラリンピックでしたが、私の印象に一番深く残ったのが、女子バスケットボール日本代表の銀メダル獲得でした。特に印象深かった三つのことがありました。

①練習のほうがかきつかった。まず、奇跡の3ポイントシュートなどで勝ち進み、絶対王者のアメリカとの決勝でも大善戦をして銀メダルを獲得したあの選手のインタビューで、何度も繰り返されたことばです。「練習の方がきつかったので、試合が楽しかった。」主イエスが大きなみわざを成し遂げた勝利の秘訣は、ゲツセマネの祈りもそうでしたが、戦いの前の隠れた祈りの中で、苦しみ、格闘し、勝利を得ておられたからだ、ということを思いました。目の前の戦いで精一杯に感じる中、反省をさせられます。

②観客がいなくてよかった。これは、絶対王者と言われ、オリンピックク七連覇を達成したアメリカの選手が、決勝戦の後に語った言葉として紹介されていました。もし、コロナ禍でなく、三万人の日本を応援する観客がいたら、結果は逆になつていただろう、ということだそう。チームを鼓舞し、応援する観客の力がどんなに大きなものなのか、無観客の中で選手が感じた興味深い言葉でした。私たちの信仰の戦いを見守る雲のように私たちを取り巻く証人がおり、隠れたところで見ておられる天の父がおられることの幸いを思いました。太陽が雲で遮られている時ほど、多くの応援者が与えられているのでしょうか。

③最初はみんなに笑われた。最後は、チームを銀メダルに導いたアメリカ人のヘッドコーチの言葉です。日本語でチームを導く姿に宣教師時代の苦勞を思い出しました。ヘッドコーチに就任した時に目標を聞かれ、「決勝戦でアメリカに勝って金メダルを獲得することです。」と言って、失笑を買ったというのでした。彼のビジョンは、あと一歩で叶いませんでしたが、もう一度、信仰者の夢見る幸いを思い出させてくれました。ヨセフの夢をあざ笑い、怒った兄たちがエジプトで、そのヨセフに頭を垂れたのです。笑われるほどの幻を見て、コロナ禍を乗り越えたいと思えます。

(葛田康毅)

巻頭言

祈ったほうが絶対楽しい!!



世界宣教局長
田辺寿雄



広げた翼

Immanuel
His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

<http://www.immanuel.or.jp/world/>

宣教師と宣教地のために、いつもお祈りをありがとうございます。
*
祈り続けることは決して簡単ではありません。しかしぜひとも祈

り続けていたのだと思います。祈ったほうが人生何倍も楽しくエキサイティングになるからです。5月に久保先生ご一家が台湾に赴任されましたが、前月の「広げた翼」の巻頭言にも書かれていたように、急に予定を早めての入国でした。そもそもコロナのためにビザの申請すらできない期間が続いていた中、申請受付が再開されたタイミング、ビザが発給されたタイミングは絶妙でした。5月21日のチケットも予約でき、これで一安心かと思いましたが、台湾での感染拡大のため今度は入国の可能性が閉ざされることに。何とか出発を早めようと調べると、不思議なようにチケットが取れ、急遽PCR検査も終わらせて、5月18日、家族揃って台湾へ飛ぶことが

できました。入国禁止となる前日で、本当にギリギリセーフでした。報告を聞いただけなら「ああそうでしたか」で終わってしまうかもしれないですが、ずっと祈っていた者にとっては一つ一つが祈りの答えであり、「神様ってなんてすごいんだらう!!」と驚きの連続でした。ある方は「山が動いた」、別の方は「海が分かれた」とおっしゃるほど、まさに神様が道を開いてくださったとしか言いようがありません。

祈っていたから、これらの感動と驚きを体験できたと思います。もちろん祈った私たちが偉いのはありません。神様がすごいのです。でも祈っていたので、心から「神様だね」と言わずに「偶然でしょ」と言うところ、祈った人たちは「神様だよ」と言えます。しかも感謝と感動をもって。祈りによって宣教に参加するのは、そのような喜び、楽しさ、興奮とともに味わうことではないでしょうか。祈った人だけが味わえる恵みと感動があるのです。祈らなくても、神様の働きは続くかもしれません。でも祈ったほうがやっぱり楽しいです。感謝と感動が増え、自分が前向きになっていきます。神様がより身近に感じられます。そんな祈りと宣教の世界へ、あなたもぜひ一緒に一緒にください。

「わたしを呼べ。そうすれば……」
(エレミヤ書三三章3節)



KENYA

ケニア・テヌウェク

葛田就子*2021年9月11日

前回3日ばかりで手続きした自動車免許を、8月初頭に無事受け取りました、と報告する「予定」でした。が、最近本部の移転があったので、諸手続きが遅れているので、もう2、3週間してから来てくださーい、と言われてしまいました。幸い、大きい病理検査用の空き容器やマジックペン等手術室の買い物が「都会」という事で他の宣教師から頼まれた買い物があつたので、遠出自体は無駄になりませんでした。7月末に新型コロナウイルスのホットスポット、危険地域扱いが解除。テヌウェク周辺には少し落ち着いた日々が戻りました。割と早く帰宅できたり、隔離棟が空っぽ、と聞いたり。感染者の出産用に使った加えた第二回復室を使っても良いのでは?という意見が出るほど。第一回復室だけの使用なので、回復室の空き待ち、手術室で回復する患者さん方がいて、次の手術を始めるられない事態解消のため。では来週からでも、と主任が返事を

して間もなく、スパイク状に感染者増加。隔離棟はほぼ満床、感染者でかつ緊急手術が必要、という患者さん方も来られるようになりました。

重なるように、ほとんど予告なしで看護学生や資格付の看護助手学生等の実習が次々舞い込み「ひと息」入れられたのはこの時のためであつたか、と唸りながら予定表の作成等に追われました。麻酔科にも2種類の学生が来ているので数が多い。新型コロナウイルスの影響で実習日数短縮があつたりする中、必要な数多くの分野に触れられるよう、という条件下でできたと思つては不備が見つかり、と短い制限時間内で超過勤務しながらの作業を受けながらの作成。(とは言え、毎月押し寄せる6種類近くのスタッフ勤務表や超過勤務手当の申請は主任と副主任が担っていてくださるのですが)目が届かない中、先日周手術期看護専門コースを卒業した若い2人が、看護学生対象に週に1回1時間程度ミーティングを持ってくれるようになりました。学校からのサポートが昨今ほとんどないので殊の外感謝です。

ホットスポット地域の解除を受けて、週一回病院の集会室を借りて手術室全体のデイポーションを再開でき感謝です。

この季節、南半球のこちらでは、寒い寒い、と夜半に帰宅すること多いのですが、最近また少し薪が与えられて感謝です。■



CAMBODIA

カンボジア

蔦田緑乃*2021年8月31日

「女が自分の乳呑み児をわすれるだろうか。……たとえ女たちが忘れても、この私は、あなたを忘れない。見よ、わたしは手のひらにあなたを刻んだ。あなたの城壁はいつもわたしの前にある。」
(イザヤ四九・15) アーメン!

9月のご報告ではスカイプによるカンボジアの伝道者方との交信により、宣教地に宣教師がいなくても、むしろ心を割った深い交わりが可能である事を報告いたしました。その後、さらに一歩進んだIT時代の宣教活動案として、新局長の田辺寿雄先生をカンボジアの先生方にご紹介するとともに、ウエスレアンから分離して、KCC(カンプチアン・クリスチャン・コミュニティ)を創設するに至った経緯の証しとご報告の会合をズームにて開催する事が許されました。思いもよらなかった道で新局長のカンボジア訪問がズームではありましたが実現しました。創設当初の局長となられた御器

が示して下さった足跡は、どの様な宣教地の理解をもつて働きを進めてゆくべきか、それは宣教の働きの基盤となる鍵でもありました。私が最初にフィリピン宣教に門が開かれた一九七九年は竿代忠一先生がまず局長として当時の総理、朝比奈寛先生とともに現地を視察して下さり、現地の働き人、宣教師方と会合をもつて、最初の單身婦人宣教師派遣がこの地で大丈夫!と深く確信して送り出してくださったことは、初代総理、兼国外宣教局長の蔦田二雄の宣教方針として受け継がれてきた道でした。ヴァンデイ師、グレッグ宣教師のお二人に、そもその成り行きとお証しを語っていただき、田辺局長との質疑応答のうちに瞬く間に2時間が経ちました。その間、主のご臨在は確かであり、締めくくりにみことばが開かれ、KCCの働き、自立教会の建て上げの10年目にある彼らにとり、教会の建て上げの鍵となるポイントがマタイ一六・18「わたしはこの岩の上に、私の教会を建てます。」から語られました。紙面の関係で内容は省略しますが、普段、私が語り続けてきた基本的な事が見事に新局長を通して再吟味され、深い納得と献身を新たにされるお祈りが捧げられて閉じられました。航空券無料の局長巡回のひと時を感謝とともにご報告しました。今後も彼らのみならず、このカンボジア宣教の活動に携わる宣教師をはじめ、局長、局員の皆様方、そしてIG

Mの諸教会が宣教の霊を常に心に新しく燃やされ、地の果てにまで新たな教会を産み出すように、お祈りの座に、献金の座に、何よりも必要とする人材が倉庫に満たされるように、心からお祈りしております。 ■



TAIWAN

台湾

久保光彦・せきな*2021年9月7日

7月末に新型コロナウイルスの警戒が二級に下がったのを受けて、8月からは対面式の集会が再開されました。5月の中旬から続いていた三級警戒の間は一切対面での集会を持つことができませんでしたが、数か月ぶりの会堂での礼拝再開は喜びの時となりました。常時のマスク着用やQRコードでの入室記録、距離を保つての着席など制限はありますが、対面の集会が再開できたことは感謝でした。対面集会の再開とほぼ同時に8月から日曜の午後に「こどもれいはい」として教会学校活動も再開しました。賛美歌を歌い、聖書のお話を紙芝居で学び、お話の後は、

毎回のテーマにちなんだクラフトを楽しく作ったりする時を持っています。牧師家族を除くと、集われているのは主に(おうちの人が台中教会に集わっている)小学生の年代のお友だちです。教会の方々がサポート役で加わってくださっており、とても助けられています。まだまだ小さな営みですが、台中の日本語コミュニティの中で良きつながりが広がっていくようにお祈りくださると感謝です。

8月に入り、次女と三女の幼稚園も始まりました。長女の小学校も8月16日から始まり、日中は上の三人が外に出ているという生活環境が始まりました。

私たちの中国語(台湾華語)の習得ですが、9月から台中教会に集われている方々がチーム制で教えてくださることになり、日本語で言えば「あいいうえお」に相当する「ポポモフォ(注音符号)」という本当の基礎の基礎から始めることとなります。奉仕や家庭では台湾華語を全く使いませんので、多少買い物の際に不自由を感じるものの、なかなか差し迫った必要を感じない語学の習得ですが、今後必ず必要になってくると思いますので、良い学びとなりますようにお祈りいただけますと感謝です。警戒レベルが二級に下がった関係で、それまでは中断していた台中への(台湾での大使館に相当する日台交流協会の)領事出張が再開され、無事に日本の運転免許の中国語訳を入手することが許され

ました。日本と台湾は協定を結んでいますので、この中国語訳と所定の申請書類を提出すれば台湾の運転免許は筆記試験、実地試験免除で交付されます。先日無事に台湾での運転免許も取得することが許されました。台中も交通量が多いですの守られますようお祈りください。 ■



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子*2021年9月9日

ロサリスでは月末に50人ほどの新感染者が発見され、警戒しています。たまに買い物に行く隣町オルダネタ市では感染者が急増しロックダウンすることになりました。全国的に見ても隔離処置のレベルが少しずつ上がっています。ウエスレアン聖書大学では新学期が始まり、オンラインでのオリエンテーションで先生たちと学生たちの顔合わせ、そして授業や生活についてのガイドラインが説明されました。翌週にはオンラインクラスが始まりました。今学期履修登録した学生は50名ほどで、昨

IWF 宣教師紹介

ホリー・ミュールハイゼン宣教師



私は2010年に道が開かれ、日本に来ました！2年間、各地で宣教経験と学びをした後、2015年4月から深川教会で『Fun Fun English ミニストーリー』を始めました。教会の先生と一緒に、絵本、歌、ゲーム、工作などをしながら子どもたちと英語を学び、聖書のお話を聞きます。大人のクラスもあります。先生と教会の方々と温かい交わりの中で、教会に人々が繋がるきっかけができる働きです。昨年には、新しく6つの教会でも始める予定でしたが、コロナ感染の影響で今は留められています。ですが、オンラインZoomを通して全国の複数の教会からも深川教会のFun Fun Englishに参加する方々がおこされています。今このFun Fun Englishで出会った家族、子どもたちとの間には、私たち、また神様との大切な絆が結ばれています。神様の恵みが皆様に豊かにありますようにお祈りしています。

年と同様、神様は新人生を与えてくださいました。オンラインクラスは、利点不利点両方ありますが、比較的ストレスも溜まることもありませんので心理的肉体的に支えられるようにお祈りください。

現学長夫人は看護師を辞めて献身された方ですが、先日、夫人と恭子が外で立ち話をしているとき、ぽつぽつと雨が降ってくるのを感じて空を見上げた恭子の喉を見た学長夫人が、「あれ、甲状腺が腫れているよ」と気がついてくださいました。その時に言われなければ、今も気づいていなかったと思います。そのくらい何の自覚症状もなく、腫れていることも見た目には（素人には）ほとんどわかりません。触るとすぐにわかりますが、お風呂でも鏡を見ても全く気がつくことはありませんでした。学長夫人に「検査してみてください」と

勧められ、3日後に家族でお世話になっている内科の先生のところで血液検査とホルモン検査、エコーの検査を受けました。また、甲状腺外科の専門医のところへ紹介状を書いていただきました。

検査の結果を持って、数年前から半年に一度の健康診断でお世話になっていた先生のところへ。この先生が甲状腺の専門家ということとをこの時初めて認識しました（確かに看板にはそう書いてありました）。

エコーと血液検査、ホルモン検査の結果を見ながら、甲状腺嚢胞（のうほう）だろうという診断でした。これからの治療を決めるために穿刺細胞診（せんし）することになりました。嚢胞はエコー検査によると2.9cmの大きさだということでした。ここまでは、腫れていることがわかってから1週間。

その1週間後に穿刺吸引細胞診

をしました。甲状腺エコーで甲状腺嚢瘍（しゅよう）の位置を確認しながら、細い注射針でしこりを刺して直接細胞を吸い出し、顕微鏡で観察して良性か悪性かを判断する検査方法です。その結果が出次第、主治医の先生と治療法を話し合う予定です。特に、技術的というよりは金銭的に保険が効く日本に帰る方が良いのか、帰国の費用、滞在費を含めると保険が効かなくてもフィリピンの方が安いのか、そのような判断基準になるのではないかと思います。

ロサリスは人口7万人弱の小さな田舎町ですが、これらすべてのことが、現在住んでいるバイブルカレッジから半径6km圏内で、しかも長い予約待ち時間もなくてできることに本当に感謝しています。また、どの先生とも安心して話せていることにも感謝しています。いつの間にか経っていた14年間の

時間に、こんなにも人や場所との繋がりができていたことを改めて実感し、ここまで導いてくださった神様の恵みを覚え、御名を崇めています。■

■会計報告8月分

宣教献金 一、〇四九、四五三元
月平均 一、六六一、四五九元

お祈りの課題

フィリピン（豊田）

◆新学期が始まった聖書大学の学生たちと先生たちのために。

◆ウェスレアン教会の霊的、経済的な必要のために。

◆事故、事件、怪我、過ち、災害、病気、疫病から家族が守られますように。常喜の網膜静脈閉塞症、恭子の甲状腺嚢胞の回復のために。

台湾（久保）

◆コロナ感染の脅威がある中、教会員、関係者、家族の霊肉が支えられるように

◆ワクチン接種が進められているが、過度の副反応や健康被害を受ける方が出ないように。

◆9月1日から新学期が始まっている。学校などでのクラスターなどが発生しないように

香港（鹿島）

◆引き続き集会人数制限が出されている中、対面礼拝と並行して行われている教会の営みが主によって用いられるように

◆経済的な戦いの中や急病で入院

生活の中を通されている教会員の方々の上に豊かな助けが与えられるように

◆コロナの影響により、近隣への働きが閉ざされた状況にあります。大分感染が落ち着いて来ているので、状況の変化の中、賢く主の導きを捉えることができるように

◆国安法の下にある香港社会の平和と政治的安定のために

カンボジア（鳥田縁乃）

◆米人宣教師、マーク師がこのズーム会合のもたれる日、御両親のご高齢のゆえの課題で3ヶ月間の帰米の途につかれました。御一家の信仰と御健康に主の御助けを

◆KCCをまとめてゆく為のリーダーシップがヴァンディ師、グレッグ宣教師に与えられるよう

◆伝道者全員の祈りの生活と御霊に満たされた神との交わりに生きる世界を開拓するよう

ケニア（鳥田就子）

◆ケリチヨーで必要な備品を購入できた感謝

◆ウィルス関連の様々な長期ストレスの中にある患者さん、ご家族スタッフのため

◆麻酔科、整形外科をはじめとする働き人（ルカー〇〇）が起されるように



聖宣神学院報



Immanuel
Bible
Training
College

今、私はここに

院長 ● 林 正弘

「今 私はここに来ております。……わが神よ 私は あなたのみところを行うことを喜びとします。あなたのみおしえは私の心のうちにあります。」

(詩篇四〇・7、8)

良いサービスを見つけて、そこに行ったり、それにアクセスしたりしたとき、「このサービスは、現在利用できません」と言われてしまうことがあります。どんなにすぐれたものでも必要なときに使えなければ意味がありません。私たちは主を愛しており、主に用いていただけたら幸いだと思っています。しかし、いざ主から声をか

けていただいたときに「今はだめです。もう少し後にしてください」と言ってしまったなら、用いていただけなくなってしまうのです。

詩篇のこの箇所

は、ヘブル人への手紙に引用され、主イエスのお姿として示されています。「今、私はここにいます」とは、「何なりとおっしゃってください。どんなことであつたとしても、そのとおりにいたしま



高くそびえる神学院の樹木 みごとです

す」ということです。神に従う者は、さらに「私はあなたのみところを行うことを喜びとします」と言います。みところを行うといつても、形だけ従っているならば律法主義になってしまいます。しかし、主の教えが心のうちにあるならば、自ら進んで、喜んですることが出来ます。みところに従うことが喜びの道です。自分が願っていることを第一にして生きるとき、楽しくそれなりに充実しているかもしれません。しかしそれは、結局欲望のとりこになってしまう道です。それは間違った個人主義だといえます。たとえ自分の願いとは違っても、不当な扱いを受ける道であつたとしても、それがみところならば、喜びの道となります。主イエスは、十字架の道を、喜びをもって通ってくださいました。一人ひとりにみところを示してください。主には、「私はここにいます。みところを教えてください」と、いつも申し上げて進みましよう。

寮監エッセー

キャンプ始めました！ 焚き火の何こうに



田辺寿雄

2年ほど前から、キャンプをするようになりまして。今のキャンブームが始まりかけの頃、おじさんが一人でキャンプをやっている動画をネットで見て心癒され、やがて自分もキャンプを始めることになりました。

一人用のテント、寝袋、椅子、ランタン、焚火台、キャンブ用の食器など、最低限必要なものを揃え、デイキャンプから始めました。幸い車で1時間のところに、環境も値段も手ごろなキャンブ場があつたので、そこを私のキャンブ地としました。テントを立て、椅子を置いて座った瞬間の解放感は、今でも忘れることができません。目の前には木々があり、その向こうに湖が見えました。飯盒でお米を炊き、温めたレトルトカレーをかけただけのランチは最高においしく、食後のコーヒーマた別格でした。

それ以来、1、2か月に1度のペースで日帰りか泊りのキャンブをするようになりました。まだ数回だけです。家族キャンブもや

りました。知り合った牧師と、奉仕が終わった日曜の夕方にキャンブ場で落ち合い、2人で焚火を囲み、コーヒを飲みながら夜遅くまで語り合ったこともありまして。キャンブの醍醐味は、なんといっても焚火の時間です。そこで料理するもよし、お湯を沸かしてコーヒを淹れるもよし。でもやはり、火を見ながらゆつくりと過ごすのが、最も贅沢な時間です。火を見ていると、不思議に飽きません。無心になれます。いろいろな思いにふけり、自分を顧みつつ祈る時間へとなっていくます。

焚火から教えられることもあり。最初に火をつけるためには、「燃えやすいもの」が必要です。そこで役に立つのが落ちていた小枝や杉の葉などになります。初めから大きな薪だけ置いて、普通は燃えないのです。

教会も同じかなと思います。大きな集会やイベントで教会を一緒に燃やそうとするよりも、小さな「燃えやすいもの」から始めることではないでしょうか。それは一通の手紙、2人での祈り、あるいは3人ですることばの分かち合い、などかもしれない。ちょっとしたきっかけやふとしたアイデアから何かが生まれることもあります。コロナの中で派手なことではできません。でも小さくてもいいので、あたたかな火が灯るような何かがあれば、と思います。私自身が、そんな小さな火になれたらと願います。

◆学びや生活の中で想う事

同じ目線で

正規コース 石川 順

「互いに一つ心になり、高ぶった思いを持たず、かえって身分の低い者に順応しなさい。自分こそ知者だなどと思つてはいけません。」(ローマ人への手紙一二章16節 新改訳第三版)

ある天気の良い日、家族三人で動物園にいきました。大きい動物もいれば小さい動物もいる。

私が子どものころ、よく動物園に連れて行ってもらいましたが、今でも動物園に行くとワクワクする気持ちがよみがえってきます。園内を家族で回りながら動物を見ていましたが、あるスペースに動物の骨に象つて造られた模型や遊具が置いてありました。それを見て娘は遊びたいと言つてスペースの中で遊びまわっていました。その姿を見ながら、私も一緒に遊んでみました。そこにある模型や遊具は子ども用に作られていたもので、大人が膝をかがめたり背を低くしたりしないと通れない場所もありました。私も身を低くしやがんでみると、そこには私が普段見えない世界が広がっていました。模型や遊具が自分に迫って

くるかのような感じがして、また、それらがものすごく大きく見えました。大人になると成長し背丈が伸びます。そうすると目線も段々と上がっていきます。立っているとき、私は物理的にものを上から見るのがほとんどですが、娘が見ている世界は毎日が迫力があり、普段私が見ている世界と違うんだということに気が付かされました。目線を低くすると見えてくる世界が変わってくる。それは物理的な世界だけではないと思います。自分の心がたかぶっている時は、自分が正しいと思ひやすく相手に批判的になります。また、上から目線になるので威圧的にもなりま

す。そうすると相手を尊重するどころか、相手の尊厳を傷つけてしまふことも起こり得ますし、相手の気持ちを慮ることもできなくなります。

イエス様がお生まれになったことを「降誕」と言いますが、イエス様は文字通り天から降つてこられました。イエス様は神様であるのに、私たち人間と同じく肉体を持ちこの地上に来てくださいました。本来そうする必要はないのに、私たち人間と同じように生きるために来てくださいました。受ける必要のない痛みや悲しみ、憤りや恐れ、裏切りも経験されました。そして人間が最も恐れている「死」に直面しその死をも経験し、その後復活されました。人間と同じ目線に立ってください、罪人に寄り添ってくださいました。

だから、私も身を低くしてイエス様とともに、下へ下へと流れ込む恵みを家族や身近な人に注ぐ者とならせて頂きたいと思つていきます。夏期実習のためにお祈りありがとうございました。恵みをたくさん頂きました！

◆学びや生活の中で想う事

イエス様がいつぱい

聴講生 石川牧子

「この夏も元気に過ごせました。……私はこの言葉を今まで飾りのように発していたと思わされながらこの執筆を始めています。激痛が走ったのは、ひとり車で外出中の駐車場。降りようとしたら、体が起こせない程の腹痛に襲われ、しばらく動けず車内で休憩。そして帰宅。そんなことが度々起こるようになり、今度は、右足の付け根の神経が痛みを感じ始め、夜眠れない程の痛みが何日も続き、次第に膝、足首にまで広がりました。今度は目の周りの神経が痛みだし

……。前期の半ば頃から体の不調が続き、内科、胃腸科、神経内科、婦人科の受診を続けるも異常無し。原因がわからぬまま、学びを続けました。不思議と授業の時間は痛みがだいぶ和らいで、最後まで受講できたことは感謝でしかありません。

ちょうどその頃から、神学院の祈祷会が一年半ぶりに再開されました。そこで不調をシェアし、祈つて頂くことができ、具体的に知って頂くことが許されました。共に学ぶ神学生やスタッフの方々にたくさん配慮頂きました。以降、家事が思うように出来ない、そんな時、夕飯や手作りおやつを度々届けてくださる方が現れました。優しい讃美歌を奏でる動画を送ってくださる方がいました。会う度に心配のお声を掛けて下さる方。幼稚園の送迎を助けてくれようとするママ友、いい病院を提案してくれるママ友がいました。娘と遊ぶためにちよくちよく遊びにきてくれる両親、兄弟。そして、一番近



コスモスに迎えられ、神学生が帰院しました

くには、家事を代わりにしてくれたり、宿題が間に合っていない私をみて、犠牲を払って時間をくれる夫。お皿洗いをうれしうにしてくれたり、苦い薬を飲む手伝いをしてくれて、飲んだ後によしよくれる娘の姿。学期末に差し掛かる頃、夫の奉仕教会で祈祷会の説教のご奉仕の際、祈祷課題で不調のために祈つて頂く機会が与えられました。以降、オンライン礼拝をしていく私に、教会に通っている夫にフルーツやスイーツ、飲み物などを託してくださる方々、励ましのお手紙をくださる方々、NOO3礼拝の前にチャットで祈りの言葉を送って下さる方、娘を心配して娘向けの美味しいものを届けてくださる方、夫に私のことを心配するお声をしてく下さる方々がいました。私はどれだけのイエス様にお会いしたのだろうか……。どれだけ慰めの言葉を掛けて頂いたのだろうか。そしてどれだけの祈りをしてく頂いたのだろうか。

この夏、前期課題提出期間、前期夏期実習期間、私の体調は徐々に回復していき、この執筆の冒頭で、「元氣」という言葉を記せるのは恵みの他ありません。夏期実習の恵みを書くこうと筆を取った私は、その恵みの源を知らされましました。

「彼らは涙の谷を過ぎるときも、そこを泉の沸わくところとします。初めの雨もまたそこを祝福でおおいます。」詩篇八四・6

いま神学院では…… この時代、この場所で

教師 ● 葛田聡毅



が世代間ギャップの中でもがいています。もがいてみないことには始まらないので、青年宣教の働きは、今まさに、建設的にもがいてる最中です。その現場の空気感をシェアするのが、このクラスの目的の一つです。

神学院の教師に、と任命されたのは7年前。3年に1度の集中授業で、全学年一緒に学びますので、在学中に教室で神学生にお会いするのは1度だけです。科目はキリスト教教育の課程の一部という位置付けで「青年」。自分の学生時代にはなかった科目で、他の神学校を参考にしようにも、当時はどこの学校にもなく、神学院側から実践的な学びの機会としてほしいとの要請で、悩みつつ、祈りつつ、教室で一緒に学び始めました。

その後間もなく、JEAの青年委員会に派遣され、日本の教界を挙げて次世代宣教が大きなテーマとなり、その最前線の働きの一端を間近で見せて頂く事になりました。一つひとつ、神様のご計画には間違いがないことを教えられ、与えられた機会を活かし、備えられた場所で最善を尽くす事の大切さを憶えます。

戦後激しく変化した若者文化の価値観への対応に、教会は慎重で遅れをとった部分があった事を素直に認めなければならぬと思います。教会だけでなく、社会全体

同窓生の近況

62期生

新潟教会 ● 黒川 哲



「主のあわれみが尽きないからだ。」(哀歌三・22)

「もう私の番?」と思いました。が、気づけばインターンから新潟に遣わされ8年、卒業して7年が経ちました。その間、結婚へ導かれ、三児の父となり、秋田の実家の父の召天、母の新潟市内の施設入居と慌ただしい中を通りました。教会近隣の変化も激しく、辺りの街並みも着任以来大きく様変わりしました。教会としても、転入会される愛兄弟方を迎えたり、教員、関係者の方々と地上生涯のお別れなど悲喜交々ありました。

現在は、コロナの影響から礼拝のみという状況が続いていますが、伝道にはイースターにはウォークスルー・エッグハント(庭の柵や植え込みにトラクトと粗品の包みを下げる)など、この機会ならではの知恵を頂いています。五旬節には初の聖餐式司式も叶いました。相次ぐ変化のたびに「主のあわれみが尽きない」と痛感させられつつ、悲しみ苦しみを共にしてくださる主と、皆様のお祈りへと感謝を新たにさせられます。

神学院スタッフ…恵みの想起

懐かしかった季節感

図書館司書 三森春生

世界を席巻したコロナ禍のため

もあつてか教会生活に季節感が薄れてしまった気がします。クリスマスやイースターは別として、特に夏の行事が顕著です。夏と言えば伝道、どこの教会も様々な形でトクデン(特別伝道集会)を開き、神学生の夏季実習も「夏季伝道」と呼ばれ、IGMの多くの教会が夏伝で生まれました。それと並行して聖会も夏のいわば風物詩で、若い信徒たちの献身を志す機会でもありました。新しい命が誕生し、神のしもべたちが献身を志し、新しい教会が生まれる季節が夏でした。半世紀の時間の変遷に社会も変革しています。献身者興起も教会の増加も、季節を越えて再生可能な新しい潮流として具体化するでしょう。

● 夏期実習が終わり神学生が学院に戻ってきました。コロナ禍の中守られるように多くの皆様のお祈りを頂き、感謝いたします。

● 10月は集中講義があります。今年はキリスト教教育(青年)・葛田聡毅先生、新約神学・葛田崇志先生、が担当してください。

● 後期も授業はオンライン、または直接授業と寮以外の方のためのハイブリットで行われる予定です。

● 女子寮キッチンが改修され、広く使いやすくなりました。

● 図書館も神学生だけでなく、牧師先生方にもご利用いただけるように徐々に設備を整え、環境整備がされるように検討しています。

● ベテルハウスはコロナ感染対策を十分に、日帰りのご利用のみ対応いたします。お問い合わせは学務課まで。

● O.C.C.での神学院祈り会はいりません。

サポーターズ

尊いお献げものに心より感謝申し上げます。8月の会計報告をさせていただきます。

8月分支援実状
〔今年度毎月献金目標〕
¥1,500,000

教会員による
「神学院サポート献金」
¥520,370
教会団体による「神学院献金」
¥539,635
合計 ¥1,060,005
その他の献金(一時・特別)
¥57,000

・振替: 00230-0-10138

学苑だより



公報

本部通達

「見よ。神である主が私を助けてくださる。」(イザヤ五〇・9)
 実りの秋となりました。COVID-19の感染に引き続き注意を払いながら、主の福音がさまざまな形で多くの方々に届くように祈り、仕えていきましょう。

■本部

10月21日(木)は76回目の教団創立記念日です。

イマヌエル総合伝道団所属の全教会はこの創立記念日を覚えて「教団創立記念礼拝」を行います。例年礼拝時に実施している感謝献金については、可能な範囲でのご協力をいただければ幸いです。

〈会議〉

5日(火) 拡大財務委員会
 (予算編成方針検討・オンライン)
 26日(火) 財務委員会
 (予算書検討・オンライン)

■国内教会局

〈教区会〉

東関東教区 10月4日(月)
 中京教区 10月4日(月)
 北関東教区 10月12日(火)
 東北教区 10月19日(火)
 近畿教区 10月19日(火)
 沖縄地区 10月25日(月)
 《各地域聖会開催情報10・11月》
 ◇東関東聖会／11月3日(水)
 オンライン開催に変更
 講師＝古波津保秀師

◇静岡聖会(DVD聖会) 11月3日(水) 前後に各教会で開催
 講師＝浜田耕三師

◇北越聖会／10月31日(日)

講師＝浜田耕三師 新潟・北陸地区共にDVDを用いて教会で開催

◇中国聖会 DVD(藤本満師)により各教会において開催

◇沖縄聖会／11月7日(日) (先月号の日程を訂正いたします) 会場＝那覇教会 講師＝岩上祝仁師

◇8月3日に予定されていた四国教区会・聖会は、新型コロナウイルス拡大を受けて中止となりました。

◇九州聖会は8月18日にオンライン配信の予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により講師を迎えることができずメッセージDVDを各教会に配布いたしました。

◇JHA関係
 ◇関東聖化大会 10月19日(火)
 講師＝島津吉成師(ホーリネス)
 オンライン配信されます。

◇東海聖化大会 10月17日(日)
 講師＝新田栄一師(JHC名古屋城北教会)
 会場＝イマヌエル名古屋教会

*YouTubeライブ配信併用
 ◇ジョン・ウェスレーに学ぶ会 10月22日(金) オンライン開催
 講師＝大頭眞一師(日本イエス教団) 青年大会講師＝田辺寿雄師

◇九州聖化大会 10月24日(日)
 講師＝久多良木和夫師

◇世界宣教局
 ◇9月28日(火)、秋の局員会はオンラインで開催。最初の1時間IWFの宣教師方にも出席して

いただき、IGMの全宣教師・局員で共に礼拝を持ち、近況報告などを分かち合うことができました。

△台湾の久保宣教師は、新しく宣教車を購入されました。

△11月21日(日)は、世界宣教聖日です。まもなくDVDなどを核教会にお送りします。礼拝や祈祷会など、教会の必要に応じた形で協力ください。お願いします。

△IWF関係
 △ホワイト宣教師の新しいオンラインミニストリーが8月にスタート。△http://Waypoints.jp△が宣教師と日本の教会の良い伝道ツールとなるようお祈りください。

△超教派関係
 △JOMA 50周年記念世界宣教フォーラム「Zoom in Mission」が10月15日(金)夜、16日(土)午前、オンラインで開催されます。IGMより、竿代照夫師と野田禎師が証し人としてご奉仕されます。

■教育局
 *教育局のホームページが絶えず更新されています。ぜひアクセスしてご利用頂けると幸いです。

《会議》
 △局運営委員会 日時＝10月4日(月) 午後1時
 △生涯学習課会合 日時＝10月28日(木) 午後1時半
 《教育部・生涯学習課》
 △牧師研修会(有志の牧師対象、Zoom オンライン) 日時＝10月21日(木) 午後1時半
 テーマ＝「私たちのアイデンティティ『きよめ』の再確認を」

発題＝葛田順子師、小川宣嗣師
 担当窓口＝田辺寿雄師、佐藤信行師、古川恵子師 申込先＝kenshu2021@immanuel.or.jp (お名前・教会名・メールアドレスを記入し、メールでの申し込み)
 △10月から始まる「ラーニング「ウェスレーを学ぶ」(藤本満師) 牧師・神学生・信徒伝道者方には生涯学習課から補助が出ます。教育局のHPから補助申請書がダウンロード、野田禎師(stnoda@gmail.com)へメールで申込信を。

《教育部・信徒教育課》
 △信徒向け聖書講座(各教会・個人で自由に視聴可能、無料) 内容＝「使徒の働き」の学び(第11回目まで公開中)
 講師＝岩上敬人師(JEA総主事) 教団公式サイト「教育局」信徒教育課からアクセス可。

《青少年部・青年課》
 △第7回YSBリトリート 日時＝11月21日(日) 午後3時
 テーマ「神様と教会と私の足あと」 内容＝証し者3組の等身大の証を△ビルド(YS)から名称変更) 10月31日(日) 午後7時から集会を行います。テーマは「恋愛・結婚」 毎月1度、Zoomでテーマを決めて開催中。毎回15～20名が参加。窓口＝吉村和記師、川村和臣師 関心のある方は、教会の牧師を通して窓口にご連絡ください。

《青少年部・CS課》
 △今月中に、子ども用洗礼準備のしおりを発送予定です。

■信徒局
 印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇〇CCビル イマヌエル総合伝道団本部

発行人 岩上祝仁 編集者 寺村秀嗣
 発行所 東京都千代田区神田駿河台一

△カナ・フェロシップオンライン 10月23日(土) 午後一時半、セミナー(内山勝師) 視聴自由・Zoom 交わりタイム (所属教会を通して申込)

△第一回全国イマヌエル信徒フォーラムはオンラインに一本化 11月23日(火祝日) 10時～16時・講演2回(朝岡勝師) 視聴自由・Zoom 分かち合い(要申込)

◎どちらも詳細はチラシ参照
 ■聖宣神学院
 △10月の集中講義 6・8日＝キリスト教教育(葛田聡毅先生)／20・22日＝新約神学(葛田崇志先生)

△後期の教会実習は24日(日)開始
 △オープン・キャンパスは中止。
 △10月も神学院祈り会も中止です。
 △11月16日(火)同窓会セミナー！ 総会(オンライン) 同窓生には案内を送付しました。

消息報告



△田中進師(大宮教会)のお母様、田中恒子姉(神戸教会員)が8月30日に天に帰られました。百歳でした。ご遺族に主の慰めをお祈りいたします。

△大滝昭子先生(引退牧師)の住所が変更になりました。
 〒350-1109

埼玉県川越市霞ヶ関北6・30・2 川越キングスガーデン特養

教報PDFパスワード＝7614

新生宣教団 定価 一部110円(税込)
 郵便振替 001107・133609